

橋梁技術発表会 及び 講演会

--- 伊藤學賞表彰式 ---

開催概要

日時	令和7年10月3日(金) 13:30~17:40
会場	銀座プロッサム(中央会館)ホール 東京都中央区銀座2-15-6
申込	https://www.jasbc.or.jp/ ※申込はWebサイトのみです。
申込受付期間	9月3日~9月23日
継続教育	CPDS対象
資料	会場では配布いたしません。必要に応じて Webサイトより出力し持参願います。 9月26日掲載予定

《開催日一覧》		
地区	開催日	申込締切
東京地区	10/03(金)	09/23(火)
大阪地区	10/17(金)	10/07(火)
北海道地区	10/24(金)	10/14(火)
中部地区	11/07(金)	10/28(火)
九州地区	11/21(金)	11/11(火)
東北地区	12/04(木)	11/25(火)
(6地区開催ですが発表テーマは異なります)		



開会	13:30~13:35	開会の辞	(一社)日本橋梁建設協会
第一部 技術発表	13:35~14:10	技術発表(1) 大型試験桁を用いた金属溶射の耐久性調査 ~沖縄地区での21年目調査報告~	製作小委員会
	14:10~14:45	技術発表(2) 都心住宅街に位置する幹線道路と高速出入口の交差部における橋梁架設 ~ヤード制約が多い中で既設構造物との干渉に配慮した曲線桁の送出し架設~	架設小委員会②
	14:45~14:50	休憩	
	14:50~15:25	技術発表(3) 「ケン・ブリッチくん」と行く保全工事の世界 ~トラス橋ってどんな橋?特徴を理解して健全に橋を守ろう!~	保全委員会
	15:25~15:35	休憩	
第二部 表彰式	15:35~16:05	1. 受賞者紹介 他	
	16:05~16:25	2. 表彰式	
	16:25~16:35	休憩	
第三部 受賞者講演	16:35~17:35	伊藤學賞受賞記念講演	伊藤學賞受賞者
閉会	17:35~17:40	閉会の辞	橋梁技術発表会 実行小委員会 委員長 本田 政樹

発表概要

鋼構造物における維持管理コスト低減と長寿命化を目的として、様々な防食方法が検討されているが、金属溶射も有効な手段のひとつであり、鋼道路橋塗装・防食便覧(平成17年12月 社団法人日本道路協会)に代表的な防食技術として掲載されたことにより、施工事例も増加しています。しかし、鋼橋の防食方法として金属溶射が本格的に採用されるようになってからまだ日が浅く、金属溶射の耐久性に関するデータが少ないこと、試験板を用いた促進試験が主であることが実状です。このため、(一社)日本橋梁建設協会では、(国研)土木研究所との共同で、腐食環境の厳しい沖縄地区において金属溶射の耐久性検証を目的として、大型試験桁を用いた暴露試験を2002年6月から開始しました。本報告は、暴露21年目までの調査結果について報告します。

首都圏の渋滞緩和、環境改善、円滑な交通ネットワークの構築を目的とした東京外かく環状道路の延伸工事に伴い、大泉ジャンクションにて関越自動車道と外環自動車道延伸部との接続ランプ橋梁・橋脚を架設しました。

本工事では、住宅街近傍での狭小な施工ヤードに加えて地下埋設物が横断するなど制約が多い中、さらに近接した既設構造物との干渉にも配慮する必要があり、送出し構台の配置や送出し線形の設定、ガイド設備、手延機のため処理などに工夫をして曲線桁の送出し架設を実施しました。本発表では、送出し架設での工夫のほか、ヤード制約がある中での鋼製橋脚の架設、床版コンクリート施工についても工夫した点を中心に報告します。

ドライブをしていると道路や線路などでトラス橋を目にすることがあると思います。トラス橋は軽量で桁橋に比べて支間を長くすることが可能であるため、長年に渡り河川や山間部にて建設されてきました。また、歴史的に貴重な橋梁も残っており、それらを含めて現在でも数多くのトラス橋が現役で活躍しています。トラス橋はスレンダーで大変美しい橋梁形式ですが、部材の軸方向に作用する力にだけ抵抗することができる軸部材で構成されています。この大変重要な特徴を踏まえて維持管理(補修・補強)を行わなければ健全な構造を維持することができません。本発表では、トラス橋の構造的特徴を示したうえで、それらを踏まえた損傷事例や補修・補強事例、既設橋梁の状態を把握するための現地踏査や現地計測技術についてご紹介します。